

ちかくのちかこ

ホームページ <http://ohnochikako.com>
 メール info@ohnochikako.com



みなさんこんにちは。妙にあったかくなったり寒くなったりへんなお天気が続いていますが元気で過ごしてはいかがでしょうか。2月の臨時議会では新議長に菱本哲造議員(会派公明党)副議長に辰見登議員(会派刷新クラブ)が選出されました。常任委員会の所属は以下の表をご覧ください(敬称略)。私は今年、民生産業常任委員会の副委員長をさせていただくこととなりました。まだまだわからないことも多いですがまじめに、気持ちますぐがんばります。今年も引き続きよろしく願い致します。

常任委員会		
委員会名	定数	委員
総務環境	8	河本光宏 友次通憲 岩本 守 桂 睦子 菱本哲造 大谷敏子 松本利明 福里俊夫
文教人権	8	阿宇地洋子 山下慶喜 小林美智子 大島一夫 辰見 登 羽東 孝 中内清孝 中村信彦
民生産業	8	篠原一代 朝田 充 村井恒雄 大野幾子 石井 強 木本保平 山本隆俊 福井紀夫
建設水道	8	坂口康博 岡崎栄一郎 畑中 剛 塚 理 青山則子 上田嘉夫 田中総司 川本紀作

議会運営委員会		
委員会名	定数	委員
議会運営	7	河本光宏 友次通憲 岩本 守 大島一夫 羽東 孝 木本保平 福井紀夫

特別委員会		
委員会名	定数	委員
安威川ダム対策	7	河本光宏 畑中 剛 友次通憲 大島一夫 羽東 孝 中内清孝 福里俊夫
北部丘陵開発対策	7	篠原一代 朝田 充 村井恒雄 中村信彦 大谷敏子 山本隆俊 福井紀夫

不妊治療の助成制度について

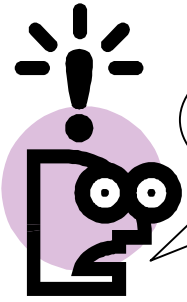
～12月議会の質問より～



子どもがほしいと望んでいても産めない夫婦が10組に1組いるといわれています。不妊治療を受ける人は年々増加しています。不妊治療のうち体外受精及び、顕微授精については保険が適用されず一回の治療費が高額なので経済的理由から子どもをもつことをあきらめる方も少なくありません。大野ちかこは市独自で不妊治療の助成をはじめていただくことを要望します。

府がH16年から始めた特定不妊治療助成事業は年間上限10万円、期間は今年、2年から5年に延長されました。

(詳細については<http://www.pref.osaka.jp/chiiki/shippei/boshi/funin/josei.html> 大阪府のホームページをご覧ください。)



不妊治療の助成は…
え！10万円！
結構もらえるねんなぁ！



と、思う方もおられるかもしれませんが不妊治療は一回の診察で約5,000円から10,000円かかり、体外受精では開きがありますが10万円から30万円の費用がかかります。具体的な数字を見ると10万円はとても安く感じますよね。

池田市では市独自でハッピーバース事業に取り組まれていて1回の治療につき15万円を助成。(1回の治療費限度額30万円のうち半分助成期限は2年間で4回助成を受けられます。

経済的な支援をしていくと同時に精神的不安を軽くする相談窓口も設置していくべきだと大野は考えます。

災害時の安否確認名簿にご登録を!!!

市では大規模な災害が発生した場合に自力で避難するのが困難な障害者
要援護高齢者等の安否確認名簿を作っています。

対象者は市内在住で次の要件に当てはまり、個人情報提供に同意された方。



- ・身体障害者手帳1級または2級を所持する人。
- ・精神障害者保健福祉手帳1級を所持する人。
- ・療育手帳「A」を所持する人。
- ・要介護認定者で、要介護度3以上の人。
- ・おおむね75歳以上で一人暮らしの人。
- ・同居者のみでは避難が困難な人。



登録する情報

氏名、性別、生年月日
住所、電話番号、ファックス番号
避難誘導などを円滑に行うための参考となる身体の特徴
緊急時の連絡先
本人に代わって登録手続きを行った方の連絡先
(氏名、続柄、住所、電話番号)

茨木市内では名簿の対象者が約1万人おられますがいまのところ1,800人弱のご登録しかありません。個人情報保護法に過敏になっておられる方や、この名簿の存在自体知らない方もまだまだおられるのではと思います。

みなさんの周りであの人は大丈夫かな？と心配な方がおられましたら名簿へのご登録をすすめていただけたらありがたいです。

「登録申請兼同意書」は総合防災課、高齢福祉課、障害福祉課、介護保険課にあります。

〒567-8505 茨木市駅前3丁目8-13

茨木市総務部総合防災課 電話 072-620-1617



茨木市の
食育の担当課は
保健医療課です。



3年前から大阪府が作成している「食育推進ボランティア」の名簿(茨木の方も多数登録しておられます。)は今まで市民活動推進課や教育委員会に渡されており、茨木市の窓口はきちんと決められていませんでしたし活用もされていませんでした。

今年茨木市は食育推進基本計画を策定し、保険医療課が窓口となって、啓発や講演会を行います。

茨木には熱心な活動を続けておられる管理栄養士の方がたくさんおられます。そういったみなさんにご活躍いただける機会をこれからもっと増やしていただきたいと思います。

昔は、家族や周りのひと、自然との関わりの中で「食育」が行われていたように思いますが今は時代が変わり、生活の仕方、人との関わり方、食べ物やその栄養も大いに違ってきます。こういう時代だからこそ、赤ちゃんから高齢者のかたまで市民のみなさんに健康的な食生活を送っていただけるよう茨木の食育施策に期待します。

12月の文教人権常任委員会より

朝ごはんたべてますか？

H16年(2004年)茨木市教育研究所が小4～中2の1,653人を対象に行った調査では毎日朝食を摂っている児童、生徒は75%いるとのこと。あとの25%のみなさん、朝食抜きだと、午前中の血糖値が低下しやすくなるため、集中しにくくなったり、イライラしやすくなりますヨ！おうちの方も意識して用意していただきますようお願いいたします。以前、少年院の指導員の方からお聞きしましたが、入所してきた人は「食の乱れ」は「生活の乱れ」とばかりにまず、3食きちんと食べることを教わるそうです。入所者の方々は今まで、インスタント食品ばかり食べていたり、食べなくても平気だったり、食生活が乱れている人が圧倒的に多いそうです。自分の身体と心のために食生活を見直してみましょ。

ちかこの余談・・・私が小学生の時「学校に遅れてもいいから朝ごはんはちゃんと食べて行け！」と毎日親に言われていました。親やのにめちゃうちゃ言うなあと感じていましたが今思えば朝ごはんを食べる習慣を覚えてくれたことに感謝です。

市民Mさんからのご質問

Q.茨木市でも教科の履修漏れなどはあるんですか？



A.ありました。
中学校での毛筆の未履修
H17年 14校中9校
H18年 14校中8校

3年生には冬休みの間に書初めしたり、年賀状を書いたりするよう指導し、1～2年生には3月迄に国語の時間に受けるよう指導されています。おかしなしわ寄せが生徒に寄っています。今後、二度と起こらないように指導、チェックをお願いします。

茨木市のいじめについて。 小学校で14件、中学校で11件の報告がありました。

いじめ相談の窓口には、担任の先生、校内いじめ不登校対策委員会、いじめホット電話相談があります。報告があるのは1位保護者から、2位本人から、3位担任の先生から、4位他の先生から、となっています。内容は主に校内で、冷やかしの、からかい、言葉の暴力と続きます。

特に小学校低学年では保護者に事実経過をお話しても遊びの範疇(はんちゅう)と取り合ってもらえない場合もあり話が進まないこともよくあるそうです。

生活の場である学校でいじめに合うと子どもにとって自分の居られる世界、居場所がほとんどなくなってしまいます。いじめる側の人にも寂しさやなんらかのストレスがあると思います。周りの大人はそういうサインに気づくことが大事だと思いますし、日頃から保護者と学校が向き合う人間関係を築くことが子どもを取り巻く問題を解決しやすくするのはと考えると、みなさんのご意見もお聞かせください。